



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スタートトゥデイ  
コード番号 3092 URL <http://www.starttoday.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前澤友作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 柳澤孝旨

TEL 043-213-5171

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,749	38.0	1,722	53.0	1,714	52.9	1,166	90.1
23年3月期第1四半期	4,891	59.3	1,125	112.6	1,121	110.0	613	103.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,167百万円 (90.4%) 23年3月期第1四半期 613百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	10.62	10.59
23年3月期第1四半期	5.59	5.57

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	18,139	10,165	54.8
23年3月期	16,233	9,533	58.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 9,932百万円 23年3月期 9,531百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	10.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,450	31.3	2,940	19.1	2,945	19.4	1,650	21.0	15.02
通期	32,200	35.3	8,560	46.3	8,570	46.1	4,800	54.7	43.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) (株)クラウンジュエル、ZOTOTOWN H、除外 1社 (社名)  
ONGKONG CO.,LIMITED

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	109,861,200 株	23年3月期	109,828,800 株
24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期1Q	109,850,519 株	23年3月期1Q	109,749,996 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年7月29日(金)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

・平成23年2月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割しております。そのため、平成23年3月期第1四半期の1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び期中平均株式数については、当該株式分割が前期首に行われたと仮定して算定した数値を表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国経済に牽引され緩やかな回復基調が見られていたものの、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災及び原発事故により、物流網や電力供給等の社会的なインフラが深刻な打撃を受け、企業活動は停滞し、加えて自粛ムードの広がりによる消費マインドの大幅な悪化が懸念され、景気の先行きが依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き主要事業であるEC事業に注力し、「ZOZOTOWN」等のECサイトの認知度と顧客サービスの向上を目指し、その一環として、CFM (Customer Friendship Management : 企業とお客様が友達のように) という目標を掲げ、返品受け付けの開始、ポイント還元率のアップ(1%から3%)等のさまざまな取り組みを行ってまいりました。

一方、ブランドの誘致に関しましても継続して積極的に行い、「atmos/atmos girls」「Lee SHOP」「AMPHI」等の合計16ショップの新規出店がありました。また、「ZOZOTOWN」開設当初から運営しておりました「EPROZE」「STLESS」「DEDUE」等合計12のメンズセレクトショップの再編を行い、「ZOZO EPROZE」「ZOZO GRANDH」「ZOZO VIANT」「ZOZO EDGE」の4ショップに統合して、新たにオープンさせております。

平成23年6月末時点の総ショップ数は、「ZOZOTOWN」「ZOZO VILLA」と合わせて254ショップとなり、幅広い年齢、趣向のお客様のニーズに応えられるようになっております。

また、平成23年6月末時点の「ZOZOTOWN」の会員数は3,390千人(前連結会計年度末比257千人増)、同様にアクティブ会員(注1)数は1,370千人(同153千人増)となっております。

なお、上記の会員数及びアクティブ会員数には、平成23年6月より開始したゲスト購入(注2)を利用して、会員登録を行わずに商品を購入したゲスト購入者9千人が含まれております。

メーカー自社EC支援事業におきましては、既に支援しておりました14社に加えて、「ZOZOTOWN」においても人気のブランドである「nano・universe」「AMERICAN RAG CIE」等3社の自社ECサイト支援業務を新規に獲得することができました。

海外展開におきましては、平成23年5月に海外顧客向けのグローバルサイト「ZOZOTOWN.com」を開設、続けて平成23年6月に中国香港に子会社ZOZOTOWN HONGKONG CO., LIMITEDを設立し、その動きを本格化させております。

さらに国内事業におきましても、持分法適用関連会社であった(株)クラウンジュエルの株式を追加取得し完全子会社としており、事業、収益モデルの多角化へ積極的に取り組んでおります。

以上により、当連結会計年度の売上高は6,749百万円(前年同期比38.0%増)、営業利益は1,722百万円(同53.0%増)、経常利益は1,714百万円(同52.9%増)、四半期純利益は1,166百万円(同90.1%増)となりました。

(注1) アクティブ会員：過去1年以内に1回以上購入した会員

(注2) ゲスト購入：会員登録を行わずに商品が購入できるサービス

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループは前連結会計年度末においてはEC事業のみの単一セグメントでありましたが、当第1四半期に㈱クラウンジュエルを完全子会社化したことに伴い、同社が運営するオークション事業を新たに報告セグメントといたしました。

なお、オークションセグメントに関しましては当第1四半期末より新規連結のため、業績の記載はありません。よって、EC事業セグメントに属する事業部門別の業績のみを記載しております。

## ①EC事業

### (ストア企画開発事業)

平成23年6月末現在、ストア企画開発事業では42ショップを運営しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,943百万円と前年同期比255百万円の増収(前年同期比9.5%増)、売上高全体に占める割合は43.6%(前年同期54.9%)となりました。また、同期間における商品取扱高(販売価格ベース)は、商品売上高と同額となりますが、商品取扱高全体に占める割合は17.3%(前年同期23.9%)となりました。

### (ストア運営管理事業)

平成23年6月末現在、ストア運営管理事業では212ショップを運営しており、当第1四半期連結累計期間の売上高(受託販売手数料)は3,312百万円と前年同期比1,377百万円の増収(前年同期比71.2%増)、売上高全体に占める割合は49.1%(前年同期39.6%)となりました。また、同期間における商品取扱高(販売価格ベース)は12,474百万円と前年同期比4,767百万円の増加(前年同期比61.9%増)、商品取扱高全体に占める割合は73.5%(前年同期68.6%)となりました。

### (メーカー自社EC支援事業)

平成23年6月末現在、メーカー自社EC支援事業では17社のECサイトを受託・運営しており、当第1四半期連結累計期間の売上高(受託販売手数料)は409百万円と前年同期比198百万円の増収(前年同期比94.4%増)、売上高全体に占める割合は6.1%(前年同期4.3%)となりました。また、同期間における商品取扱高(販売価格ベース)は1,556百万円と前年同期比717百万円の増加(前年同期比85.6%増)、商品取扱高全体に占める割合は9.2%(前年同期7.5%)となりました。

### (その他の事業)

その他の売上として、「ZOZONAVI」掲載ショップの特集ページ掲載サービス等からなるメディア事業、提携カードである「ZOZOCARD」でのキャッシング収入及び当社サイト以外でのショッピングに関する手数料を受領するカード事業並びに各ブランドがテナント出店する際の初期出店料及びメーカー自社EC支援事業に係るWEBページ製作業務料等があります。当連結会計年度におけるその他の売上高は83百万円と前年同期比25百万円の増収(前年同期比43.4%増)、売上高全体に占める割合は1.2%(前年同期1.2%)となっております。

## ②オークション事業

当第1四半期末より新規連結のため、業績の記載はありません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,056百万円増加(同7.1%増)し、15,953百万円となりました。主な増減要因としては、現金及び預金の減少607百万円、売掛金の増加1,875百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ849百万円増加(同63.5%増)し、2,185百万円となりました。主な増減要因としては、工具器具備品の増加145百万円、のれんの増加754百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて11.7%増加し、18,139百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,244百万円増加(同20.0%増)し、7,479百万円となりました。主な増減要因としては、受託販売預り金の増加1,582百万円、未払金の増加348百万円、未払法人税等の減少839百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加(同6.5%増)し、495百万円となりました。主な増減要因としては、退職給付引当金の増加49百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて19.0%増加し7,974百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ631百万円増加(同6.6%増)し、10,165百万円となりました。主な増減要因としては、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1,166百万円、少数株主持分の増加229百万円、剰余金の配当による減少768百万円などによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末から1,107百万円減少し、8,932百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下の通りです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は101百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,920百万円の計上に加え、受託販売預り金の増加1,582百万円等の増加要因があったこと、一方、主な減少要因としては売上債権の増加1,793百万円及び法人税等の支払額1,749百万円があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は687百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出82百万円、投資有価証券の取得による支出50百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出531百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は517百万円となりました。これは、少数株主からの払込みによる収入232百万円、配当金の支払額749百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におきましては、顧客サービス及び認知度向上のための様々な取り組みが奏功し、業績は順調に推移いたしました。商品取扱高、売上高に关しましては概ね計画通りに、営業利益、経常利益、四半期純利益に关しましては、計画を上回るペースで推移しております。

しかしながら、第2四半期以降には、商品取扱高の増加に伴う人件費等の増加、広告宣伝及びポイント関連の販売促進施策の積極的な実施を予定していること、さらには東日本大震災の影響から未だ景気の先行きが不透明な状況を鑑み、平成23年4月27日に発表した平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の持分法適用関連会社であった(株)クラウンジュエルは、平成23年6月に株式の追加取得を行い完全子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めております。

また、平成23年6月に中国香港に設立いたしましたZOZOTOWN HONGKONG Co., LIMITEDを連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,539,926	8,932,348
売掛金	3,180,863	5,055,954
有価証券	500,000	—
商品	1,071,428	1,186,045
その他	604,725	779,306
流動資産合計	14,896,943	15,953,655
固定資産		
有形固定資産	523,315	662,950
無形固定資産		
のれん	—	754,262
その他	257,447	228,376
無形固定資産合計	257,447	982,639
投資その他の資産	555,759	540,185
固定資産合計	1,336,522	2,185,775
資産合計	16,233,465	18,139,430
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	577,958	505,555
受託販売預り金	2,655,950	4,238,558
未払法人税等	1,776,216	936,399
賞与引当金	97,698	153,720
ポイント引当金	396,284	507,875
その他	730,814	1,137,089
流動負債合計	6,234,922	7,479,199
固定負債		
退職給付引当金	225,200	274,573
役員退職慰労引当金	137,207	—
資産除去債務	102,442	102,849
その他	—	117,649
固定負債合計	464,849	495,071
負債合計	6,699,772	7,974,271
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,358,693	1,359,222
資本剰余金	1,326,890	1,327,412
利益剰余金	6,849,700	7,247,492
株主資本合計	9,535,284	9,934,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,320	△1,629
為替換算調整勘定	—	△249
その他の包括利益累計額合計	△3,320	△1,879
新株予約権	1,729	3,152
少数株主持分	—	229,758
純資産合計	9,533,693	10,165,159
負債純資産合計	16,233,465	18,139,430

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,891,938	6,749,593
売上原価	1,893,482	1,772,179
売上総利益	2,998,455	4,977,414
販売費及び一般管理費	1,872,509	3,255,020
営業利益	1,125,946	1,722,393
営業外収益		
受取利息	2,311	1,732
受取配当金	489	310
その他	343	878
営業外収益合計	3,144	2,921
営業外費用		
為替差損	7,399	4,125
持分法による投資損失	—	6,653
その他	178	—
営業外費用合計	7,578	10,779
経常利益	1,121,512	1,714,535
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,443
段階取得に係る差益	—	207,631
特別利益合計	—	213,074
特別損失		
固定資産除売却損	—	7,041
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,440	—
特別損失合計	22,440	7,041
税金等調整前四半期純利益	1,099,072	1,920,569
法人税、住民税及び事業税	655,290	921,378
法人税等調整額	△169,744	△167,359
法人税等合計	485,546	754,019
少数株主損益調整前四半期純利益	613,525	1,166,550
少数株主損失(△)	—	△42
四半期純利益	613,525	1,166,592

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	613,525	1,166,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△287	1,690
為替換算調整勘定	—	△471
その他の包括利益合計	△287	1,218
四半期包括利益	613,238	1,167,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	613,238	1,168,033
少数株主に係る四半期包括利益	—	△264

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,099,072	1,920,569
減価償却費	26,637	50,134
固定資産除売却損益(△は益)	—	7,041
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△207,631
賞与引当金の増減額(△は減少)	48,732	56,021
ポイント引当金の増減額(△は減少)	36,287	108,060
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,428	49,373
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,157	△137,207
受取利息及び受取配当金	△2,801	△2,043
為替差損益(△は益)	7,301	4,125
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,440	—
売上債権の増減額(△は増加)	△504,471	△1,793,139
たな卸資産の増減額(△は増加)	191,409	△48,970
仕入債務の増減額(△は減少)	△313,797	△139,603
受託販売預り金の増減額(△は減少)	352,263	1,582,608
未払金の増減額(△は減少)	△103,020	264,810
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,834	△93,459
その他	△37,542	228,420
小計	822,262	1,849,108
利息及び配当金の受取額	3,004	1,929
法人税等の支払額	△1,025,586	△1,749,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	△200,319	101,658
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,603	△82,221
無形固定資産の取得による支出	△3,779	△39,163
関係会社株式の取得による支出	△95,150	—
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△531,365
その他	1,465	15,187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,068	△687,563
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	260	324
配当金の支払額	△389,898	△749,574
少数株主からの払込みによる収入	—	232,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△389,638	△517,075
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,301	△4,597
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△703,327	△1,107,577
現金及び現金同等物の期首残高	7,160,047	10,039,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,456,720	8,932,348

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)  
該当事項はありません。